

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of: KOLLMANN, Fabian, et al.

Serial No: 10/538,554

Examiner: Le, Huyen

Filing Date: January 9, 2006

Group Art Unit: 3751

For: SHOWER SUPPORT

Conf. No. 5082

LETTER OF RECORD

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

This Letter of Record is submitted concurrently with payment of the issue fee, to be posted in the official file. No responsive action is required from the PTO.

When reviewing the file after allowance, it was determined that one of the references (JP 2-78662) that had been cited in a corresponding JP application, had not been among the references cited of record in the present application. A copy of JP 2-78662 is attached. The document can be seen to be no more pertinent than the prior art already of record in the present application, and under such circumstances, is not regarded as material to patentability. Applicant nevertheless submits a copy to be found in the record by interested parties, who can judge independently, with the understanding that the document was not considered by the examiner during prosecution of the application.

Respectfully submitted,

Date: December 1, 2009

/Stephan Gribok/

Stephan P. Gribok, Reg. No. 29,643  
Duane Morris LLP  
30 South 17<sup>th</sup> Street  
Philadelphia, PA 19103-4196  
tel. 215-979-1283  
fax. 215-979-1020  
SPGRIBOK@DUANEMORRIS.COM

Docket No.: D4700-399  
[P 42231 WO/US]

# 公開実用平成 2-78662

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-78662

⑬ Int. Cl.<sup>9</sup>

E 03 C 1/06

識別記号

庁内整理番号

7705-2D

⑭ 公開 平成2年(1990)6月18日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 頁)

⑮ 考案の名称 シャワーヘッドの掛け具

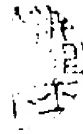
⑯ 実 願 昭63-157469

⑰ 出 願 昭63(1988)12月2日

⑱ 考 案 者 小 林 成 价 東京都北区赤羽台1丁目3番14-201号

⑲ 出 願 人 小 林 成 价 東京都北区赤羽台1丁目3番14-201号

⑳ 代 理 人 弁理士 鈴木 利明



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

シャワーヘッドの掛け具

### 2. 実用新案登録請求の範囲

1. シャワーヘッドを浴槽上方の所定位置で保持しえるように該シャワーヘッドを掛け止め保持するシャワーブラケットを浴室壁面からほぼ水平方向に延設された所要の長さを有する延設アームの先端部に取り付けると共に、該シャワーブラケットに掛け止め保持されるシャワーヘッドからのシャワー角度がほぼ直下方向にシャワーしえるように該シャワーブラケットを前記延設アームの先端部に上下方向に対する所定の傾斜角度を保持しえるように枢着し、さらに前記シャワーブラケットを取り付けた前記延設アームの先端部を浴槽上方の所定位置で保持された延設位置から基端部側の浴室壁面方向に回動して折りたたみえるように該延設アームの基端部を浴室壁面に固着された支持部材に枢着してなる、シャワーヘッドの掛け具

2. 前記延設アームを、基端部側に位置する固定アームと該固定アーム方向に進退移動し所要の長さ位置で締め付け固定される摺動アームとで構成してなる請求項1記載のシャワーヘッドの掛け具

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、浴室で使用するシャワーのシャワーヘッドの掛け具の改良に関する。

〔従来技術〕

従来のシャワーヘッドの掛け具は、シャワーヘッドを掛け止め保持するシャワーブラケットの基部を浴室壁面に直接取り付けたりして、壁面から僅かに離された位置にシャワーブラケットを取り付けている。また、従来のシャワーヘッドの掛け具は、シャワーブラケットに掛け止め保持されるシャワーヘッドのシャワー角度が斜め前方へ拡散されるようにシャワーヘッドの取付け角度を設定している。

係る構成からなる従来のシャワーヘッドの掛け



具は、入浴時にシャワーを使用する特質から導かれたものである。

一方、シャワー付き洗面台が公知である。このシャワーは入浴時以外に洗髪を簡便に行なうことができるものであるが、浴室のシャワー設備とは別個に設備しなければならず、高い設備費用を要する。

〔考案が解決しようとする課題〕

このように浴室内に取り付けられた従来のシャワーヘッドの掛け具は、入浴時にシャワーを使用する場合を考慮して構成されているため、浴室のシャワーを利用して入浴時以外に衣服を着用した状態で洗髪を行なう場合には不適切なものであった。すなわち、シャワー角度が斜め前方向へ拡散されるようにシャワーヘッドを取付けてあるため着用衣服が濡れてしまうという弊害が指摘される。このため、浴室のシャワーを利用して入浴時以外に洗髪を行なう場合には、片手でシャワーヘッドを持ちながら一方の手で洗髪をしているのが実情である。しかしこのような片手での洗髪では十分


な洗髪を行なえない。

本考案に係るシャワーヘッドの掛け具は、係る実情に鑑みて提供されたものでありその解決すべき課題は、浴室のシャワーを利用して入浴時以外に衣服を着用した状態で洗髪を行なうのに適切なシャワーヘッドの掛け具を提供するものである。

〔課題を解決するための手段〕

上記の課題を解決するために本考案のシャワーヘッドの掛け具は、次のような手段からなっている。

すなわち、本考案のシャワーヘッドの掛け具は、シャワーヘッドを浴槽上方の所定位置で保持しえるように該シャワーヘッドを掛け止め保持するシャワーブラケットを浴室壁面からほぼ水平方向に延設された所要の長さを有する延設アームの先端部に取り付けると共に、該シャワーブラケットに掛け止め保持されるシャワーヘッドからのシャワー角度がほぼ直下方向にシャワーしえるように該シャワーブラケットを前記延設アームの先端部に上下方向に対する所定の傾斜角度を保持しえるよ



うに枢着し、さらに前記シャワーブラケットを取り付けた前記延設アームの先端部を浴槽上方の所定位置で保持された延設位置から基端部側の浴室壁面方向に回動して折りたたみえるように該延設アームの基端部を浴室壁面に固着された支持部材に枢着してなるものである。

さらに、本考案のシャワーヘッドの掛け具は、前記延設アームを、基端部側に位置する固定アームと該固定アーム方向に進退移動し所要の長さ位置で締め付け固定される摺動アームとで構成してなるものである。

#### 〔作用〕

本考案のシャワーヘッドの掛け具によれば、シャワーヘッドを浴室壁面からほぼ水平方向に延設された所要の長さを有する延設アームの先端部に取り付けられたシャワーブラケットに掛け止めることにより該シャワーヘッドを浴槽上方の所望位置に保持できる。

また、シャワーブラケットを上下方向に対する所定の傾斜角度を保持できるように前記延設アー



ムの先端部に枢着していることにより、該シャワーブラケットに掛け止め保持されるシャワーヘッドのシャワー角度がほぼ直下方向に向けられるように設定できる。

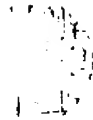
さらに、前記延設アームの基端部を浴室壁面に固着された支持部材に該延設アームの先端部を浴槽上方の所定位置で保持された延設位置から基端部側の浴室壁面方向に回動して折りたたみえるように枢着したことにより、不使用時にはシャワーブラケットを取り付けた延設アームの先端部側を回動させて浴室壁面方向に折りたたむことができる。

#### [実施例]

以下、本考案の実施例を図面に基づいて説明する。

図中、1は浴室壁面30からほぼ水平方向に延設された所要の長さを有する延設アームであり、該延設アーム1の先端部1aにはシャワーヘッド20を掛け止め保持するシャワーブラケット12が取り付けられている。前記延設アーム1の長さ





は、シャワーブラケット 12 を介して掛け止め保持されるシャワーヘッド 20 を浴槽 32 上方の所定位置で保持しえるように構成され、具体的には 30 ～ 40 cm 程度の長さに設定される。前記延設アーム 1 は、基端部 1b 側に位置する管状の固定アーム 2 と該固定アーム 2 の管内に進退移動自在に嵌挿され所要の長さ位置で締め付けグリップ 4 によって締め付け固定される摺動アーム 3 とで構成され、これにより延設アーム 1 の長さ調節を可能にしている。

また、前記延設アーム 1 は、該延設アームの基端部 1b を浴室壁面 30 に締め付けビスなどによって固着された支持部材 6 に縦軸 8 を介して枢着されていて、該延設アーム 1 の先端部 1a を浴槽 32 上方の所定位置で保持された延設位置から基端部 1b 側の浴室壁面 30 方向に横回動して折りたためるよう浴室壁面 30 に取り付けられている。これにより不使用時には延設アーム 1 を浴室壁面 30 側に折りたたむことができる。また、符号 9 は使用時に延設アーム 1 を所定位置に保持してお

くための係止部材であり、この係止部材 9 は使用時にシャワーヘッド 20 やシャワー噴出力による負荷により延設アーム 1 が所定位置から横方向にズレるのを防止する効果がある。なお、この実施例では延設アーム 1 を横方向に回動して折りたたむ手段を示しているが、折りたたみ手段としてはこれに限定されず、延設アーム 1 の基端部 1 b を支持部材 6 に横軸 8 を介して枢着し、縦方向に回動させて折りたたむことも可能である。

延設アーム 1 の先端部 1 a にはシャワーヘッド 20 を掛け止め保持するシャワーブラケット 12 が取り付けられている

前記シャワーブラケット 12 は、前記延設アーム 1 の先端部 1 a に上下方向に対する所定の傾斜角度を保持しえるように横軸 14 を介して枢着され、該シャワーブラケット 12 に掛け止め保持されるシャワーヘッド 20 からのシャワー角度がほぼ直下方向に向くようにシャワーブラケット 12 の上下方向の傾斜角度が設定される。なお、延設アームの先端部 1 a 側から突設された球体 16 を

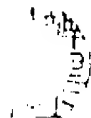


シャワーブラケット 12 の基部側に形成された外嵌部材 17 内に堅く内嵌して結合している。これによりシャワーブラケット 12 に保持されたシャワーヘッド 20 に多方向から強い衝撃が加えられた場合でもこの衝撃に対してシャワーブラケット 12 の首振りをして可能にして衝撃を緩和し延設アーム 1 の壁面 30 への取り付け部に強い衝撃が加わるのを防止している。

なお、34 はシャワー付風呂釜であり、36 はこのシャワー付風呂釜に取付けられている既設のシャワーブラケットである。

#### 〔考案の効果〕

本考案に係るシャワーヘッドの掛け具は、以上のように構成されているため、浴室のシャワーを利用して入浴時以外に衣服を着用した状態で洗髪を行なう場合、本考案のシャワーヘッドの掛け具によれば、シャワーヘッドを浴槽上方の所望位置に保持できると共に、該シャワーヘッドのシャワー角度をほぼ直下方向に向けることができるため、シャワーヘッドの直下に頭部を配して洗髪を行え



ば、衣服を濡らす心配もなく両手で洗髪を行うことができる。

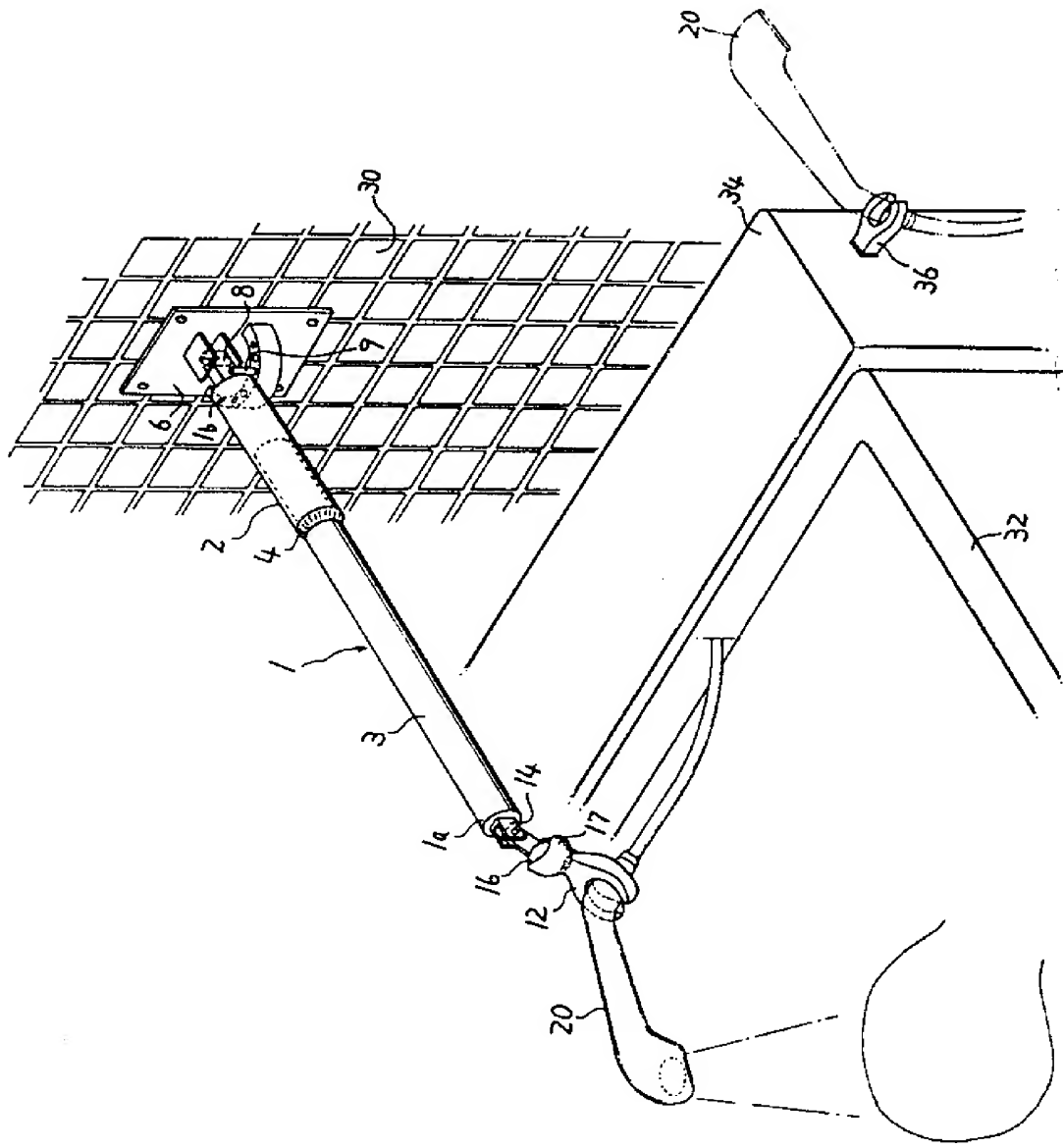
また、不使用時にはシャワーブラケットを取り付けた延設アームの先端部側を回動させて浴室壁面方向に折りたたむことができるため、通常の入浴の際にじゃまになるおそれも少ない。

このように本考案のシャワーヘッドの掛け具によればは、近年普及の著しいシャワー付洗面台のない家庭であっても、浴室のシャワーを利用して衣服を着用した状態でも濡れずに両手で洗髪を行うことができるものであるため、忙しい出勤前でも簡単迅速に洗髪をなしえるという優れた効果を有するものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

図面は、本考案に係るシャワーヘッドの掛け具を示した斜視図である。

1 ……延設アーム、1 2 ……シャワーブラケット、2 0 ……シャワーヘッド、3 2 ……浴槽、



803

73662

代理人 弁理士 鈴木 利 明